



# 統合失調症とくすり Part3



～内服薬と注射薬～

おくすりには、いろいろな形態（剤型）があります

## 錠剤

- 携帯に便利
- 保管しやすい
- 水と一緒に飲む

## 口腔内崩壊錠

(ジプレキサザイティスなど)

- 飲むと口のなかで溶けるので、のどにつかえにくい
- 水なしでも飲める

## 液剤

- そのまま、どこでも飲める
- 携帯に便利な分包タイプもある

## 散剤(粉ぐすり)

用量を細かく設定できる

## 注射

- 病院で注射してもらう
- 1回の注射で数週間効果が続く注射(＝持効性注射剤)もある。

## テープ剤

(プロナンセリン)

- 食事摂取と関係なく貼ることができる。



おもな、内服薬と持効性注射剤を比べると

	内服薬	持効性注射剤
商品名	リスパダール、ジプレキサ、ルーラン、セロクエル、エビリファイ、ロナセン、インヴェガ、ハロペリドール、ゾテピン、ウインタミン、ヒルナミン 等	ハロマンズ フルデカシン、リスパダールコンスタゼプリオン、エビリファイ
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 副作用の対応がしやすい (薬の量を減らす、薬を中止する、薬を変える)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投与回数が少なくてすむ</li> <li>• 飲み忘れ、中断の心配がないため、確実な薬物療法が維持できる</li> <li>• 「薬を飲まなければ」と気にしなくてもよい</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日、きちんと飲む必要がある</li> <li>• 飲み忘れ、中断の可能性がある</li> <li>• 自己調節、大量服薬の危険性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 副作用の対応が難しい</li> <li>• 注射時に、痛み、腫れ、硬くなったりすることがある</li> </ul>

おくすりは、「決められた量を、**続けて使用する**」ことが大切です  
自分にとって、続けやすいおくすりを、主治医と相談して決めましょう

